



* 2013年7月19日、米国にて発表されたプレスリリースの全訳です。
同発表に関するカンファレンス・コール/ウェブキャスト再生、プレゼンテーション資料、および
関連資料等は、GEウェブサイト内「インベスター・リレーション」（*英語のみ）をご覧ください。

GE、2013年度第2四半期の業績を発表

2013年第2四半期の1株当たり営業利益(Operating EPS)は0.36ドル、売上高は351億ドル

インフラストラクチャー事業の受注高は4%増、米国向け受注は20%増、受注残高は過去最高の2,230億ドルを記録

産業分野事業の利益率は50ペーシスポイント増

2013年度第2四半期の決算ハイライト

- 第2四半期の受注高は4%増、米国向け受注は20%増
- 1株当たり営業利益(Operating EPS)は、増益項目0.02ドルが再編その他費用0.04ドルに相殺された結果、0.36ドル
- 産業分野事業の7部門のうち6部門で増益
- 産業分野事業における成長市場での売上高は5%増
- 産業分野事業の利益率は50ペーシスポイント増、7部門のうち6部門で堅調な実績
- 今年度累計で99億ドルを株主に還元
- 2013年度の全般的事業見通しは変わらず

2013年7月19日【米国コネチカット州フェアフィールド】

GEは本日、2013年第2四半期の業績を発表しました。当四半期の営業利益は前年同期比8%減の37億ドル、1株当たり営業利益は同5%減の0.36ドルとなりました。一般会計基準(GAAP)ベースの継続事業からの利益は11%減の33億ドル、1株当たり換算すると9%減の0.31ドルとなりました。四半期純利益は1%増の31億ドル、1株当たり純利益は3%増の0.30ドルでした。1株当たり0.02ドルの増益項目が、事業再編その他費用0.04ドルに相殺される結果となりました。当四半期の売上は前年同期比4%減の351億ドルでした。

GEのジェフ・イメルト会長兼CEOは次のように述べています。「第2四半期は、当社の産業分野事業7部門のうち6部門で増益を達成し、構造費用の削減とともに成長分野への投資を継続しました。第1四半期に比べて事業環境が若干改善する中で、当社は各種施策を実行してきました。新興市場は引き続き堅調であり、当四半期における米国向けの受注は強い伸びを示しました。欧州は安定しつつありますが、予断を許しません。今年度下半期にかけて利益率の継続的拡大およびセグメント利益の増加を見込んでいます」。

当四半期のインフラストラクチャー事業の受注は4%増の241億ドルとなりました。当四半期末における設備・機器およびサービスの受注残高は前四半期比70億ドル増加し、過去最高の2,230億ドルとなりました。当四半期のインフラストラクチャー事業の受注価格は0.9%上昇しました。

産業分野事業の利益率は50ペーシスポイント増加しました。堅調な価格推移および素材価格の下落が奏功し、2億9,300万ドルの受払差益が生じました。このプラス分は、パワー&ウォーター部門の販売量計上の期ズレ（計上タイミングの繰延）により一部相殺されました。同部門の出荷量は今年下半期に増加する見込みです。当社は、産業分野事業の構造費用を今年度累計で4億7,400万ドル削減しました。また、今年度の利益率を70ペーシスポイント増加する計画は、順調に推移しています。

当四半期、GEおよびGEが出資する複数の航空機エンジンの合併会社は、パリ航空ショーにて260億ドル超の受注を獲得したことを発表しました。この中には、エアアジアによるCFM¹LEAPエンジン、およびCFM56-5Bエンジン86億ドル分のコミットメント、ユナイテッド航空によるGEnxエンジン18億ドル分のコミットメント、およびCITグループによるCFM LEAPエンジン7億6,000万ドル分（ボーイング737 MAX8型機×30機分に搭載予定）のコミットメントが含まれます。ヘルスケア・システム分野では、米国での機器の受注が前年同期比で9%増加しました。

GE キャピタルはポートフォリオ（事業規模）を縮小し、コア事業に注力するという戦略を順調に進めてきました。資産圧縮を予定通り進めた結果、当四半期の利益は9%減となりました。期末純投資額残高（現金および現金同等物を除く）は3,910億ドルとなりました。当四半期における出来高は5%増加し、良好なリターンを得ました。当四半期、GE キャピタル・コーポレーション（GECC）のバーゼルⅠ規制に基づくTier 1普通資本比率は108ベースポイント増の11.2%となり、正味金利マージン（純資金利ざや）は5%と堅調でした。GECCは当四半期、親会社であるGEに対して19億ドルの配当を支払いました。またGEは、2013年度の当該受取配当金総額が最大65億ドルになる見込みであることを発表しました。

当四半期におけるGEの営業活動によるキャッシュフローは51億ドル（NBCU株式売却関連の税金を除く）となりました。今年度累計の同キャッシュフローはNBCU株式売却関連の税金が主因となり、低水準でした。当四半期における現金および現金同等物の連結期末残高は890億ドルでした。当四半期末時点でのGEキャピタルの発行済コマーシャル・ペーパー残高は、2012年末の430億ドルから減少し、360億ドルとなりました。

GEは引き続き、統制およびバランスのとれた資本配分計画を実施しており、今年度累計で99億ドルを、配当や自社株買いの形で投資家に還元してきました。第2四半期、当社は、石油・ガス業界向けに人工採油法ベースの技術を展開する大手サプライヤーであり、産業用機器の製造も手掛けるLufkin Industries社を33億ドルで買収したことを発表し、2013年7月1日に買収を完了しました。また、2012年12月に発表したAvio社（民間・軍用航空機向けに航空関連部品・システムを製造するイタリア企業）の航空事業の買収は順調に進んでおり、2013年下半年に完了する予定です。

「当四半期、産業分野事業の増益を達成しました。今後とも我々の統制の及ぶ範囲で、コスト削減目標の達成、潤沢なキャッシュの維持、GEキャピタルの事業規模縮小、株主への十分なキャッシュ還元など、経営上の優先課題を実行していきます。当社の今年度の全体的事業見通しは以前と変わりません」とイメルトは述べています。

2013年第2四半期の決算ハイライト

2013年第2四半期の営業利益は、前年同期比8%減の37億ドル、1株当たり営業利益は同5%減の0.36ドルでした。一般会計基準(GAAP)ベースの（GEに帰属する）継続事業からの利益は前年同期比11%減の33億ドル、1株当たりに換算すると9%減の0.31ドルとなりました。当四半期に利益を計上した項目（1株当たり0.02ドル）が、事業再編その他費用（1株当たり0.04ドル）により相殺されました。

¹ CFM インターナショナルは、GE とスネクマ（サフラン・グループ）の折半出資により、設立された合併会社です。

非継続事業の実績を含めると、2013年第2四半期のGEに帰属する純利益は、前年同期比1%増の31億ドルとなり、1株当たり利益(EPS)は同3%増の0.30ドルとなりました。前年同期の実績は31億ドル(1株当たり0.29ドル)でした。

2013年第2四半期の売上高は、前年同期比4%減の351億ドルでした。産業分野事業の売上高は同2%減の246億ドルでした。GEキャピタル・コーポレーション(GECC)の売上は前年同期比3%減の110億ドルとなりました。

GEの営業活動による2013年度累計キャッシュフロー総額は37億ドル(NBCU株式売却関連の税金を除くと53億ドル)となりました。前年同期の実績は68億ドルでした。

注：別紙の財務諸表には当社の財務状況、業績およびキャッシュフローを測定するうえで不可欠な情報が含まれています。

* * *

GEについて

GEは、世界が直面している困難な課題に取り組む企業です。人材とテクノロジーを最大限活用して、インフラ構築、電力供給、運輸や医療、金融に関わるソリューションを提供しています。日本においてGEは、より安全でクリーンなエネルギーの供給や、急速に進む高齢化に対応する医療サービスなどに取り組んでいます。これらの課題を解決するために、技術革新を進め、ステークホルダーと協働して、日本の再生と持続的な成長を目指しています。エジソンを創始者とするGEは、イマジネーションを大事にするとともに、実行する会社でもあります。課題解決のために行動を起こす、それがGEです。日本におけるGEの活動については、<http://www.ge.com/jp/>をご覧ください。

GEの投資家向けウェブサイト www.ge.com/investor、コーポレート・ブログ www.gereports.com、当社のFacebookページおよびTwitterアカウントにはGEに関する情報のほか、財務や投資家の皆さま向けの情報が多数掲載されています。これらのウェブサイトにおいて、情報の更新および新たな情報掲載がなされるため、投資家の皆様には随時ウェブサイトをご覧くださいことを推奨いたします。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」「予想する」「つもりである」「計画する」「信じる」「探し求める」「見込む」「～であろう」といった言葉を含むことがよくあります。「将来予想に関する記述」はその性質上、程度の差はあれ不確実な事柄に言及します。GEの実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む、欧米における欧州公的債務問題およびそれに係る将来的な市場混乱、現在の経済・金融状況、当社が計画するGEキャピタル・コーポレーション(GECC)の資金調達の可能性やそれに伴う費用、そして、GECCの資産レベルを縮小するための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行(デフォルト)になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、日本の消費者金融における過払い金利返還の当社見積もりに対する実際の請求状況(GE Money Japan)、当社の損失可能性見積もりを含む債務予想に影響を及ぼし得るWMCのモーゲージローン証券化に関する係争中または将来的な請求・訴訟、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する当社の能力に影響を及ぼし得る当社のキャッシュフローや利益など財務状況の適切性、GECCが計画通りにGEへ配当を支払う能力、当社の客先である主要産業(航空会社、鉄道、エネルギー生産、不動産、ヘルスケア、あるいはその他の産業)からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響(金融関連法令の影響を含む)、予定されている自社株買いや買収・合併事業・売却などの戦略的行為に変更を生じさせ、影響を及ぼす可能性のある、当社の資本配分計画、発表済みの案件完了や買収した事業の統合における当社の成功、情報技術またはデータセキュリティ侵害が発生した場合の影響、さらに政治的、経済的、商業的、競争的な性質を持つ、国や地域、世界規模で起こる、その他の多数の事象が含まれます。こうした不確実性により、将来におけるGEの実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GEは「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

本件に関するお問い合わせ

日本GE コーポレート・コミュニケーション本部

TEL: 03-3588-9500

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
損益計算書

6月30日までの3ヶ月間	連結			GE(a)			金融サービス (GECC)		
	2013	2012	V%	2013	2012	V%	2013	2012	V%
売上その他の利益									
商品およびサービス売上	\$ 24,502	\$ 25,003	(2)%	\$ 24,623	\$ 25,138	(2)%	\$ 31	\$ 26	19%
その他の売上	104	393		2	409		-	-	
GECC の継続事業による売上	-	-		1,922	2,122		-	-	
GECC のサービス売上	10,517	11,001		-	-		10,949	11,328	
総売上その他の利益	35,123	36,397	(4)%	26,547	27,669	(4)%	10,980	11,354	(3)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費 および一般管理費	27,061	27,603		22,520	23,249		4,868	4,690	
支払い利息およびその他の財務費用	2,617	3,202		326	351		2,405	2,979	
投資契約・保険損失・ 保険および年金給付	687	662		-	-		728	702	
貸倒引当金	1,029	743		-	-		1,029	743	
売上原価および費用合計	31,394	32,210	(3)%	22,846	23,600	(3)%	9,030	9,114	(1)%
継続事業による利益	3,729	4,187	(11)%	3,701	4,069	(9)%	1,950	2,240	(13)%
法人税等引当額 (引当金)	(308)	(496)		(297)	(392)		(11)	(104)	
継続事業による利益	3,421	3,691	(7)%	3,404	3,677	(7)%	1,939	2,136	(9)%
非継続事業による税引利益 (損失)	(122)	(553)		(122)	(553)		(121)	(553)	
純利益	3,299	3,138	5%	3,282	3,124	5%	1,818	1,583	15%
非支配持分の純利益 (損失) を除く	166	33		149	19		17	14	
当社に帰属する純利益	3,133	3,105	1%	3,133	3,105	1%	1,801	1,569	15%
優先株主配当	-	-		-	-		(135)	-	
普通株主に帰属する純利益	\$ 3,133	\$ 3,105	1%	\$ 3,133	\$ 3,105	1%	\$ 1,666	\$ 1,569	6%
当社に帰属する利益：									
継続事業による利益	\$ 3,255	\$ 3,658	(11)%	\$ 3,255	\$ 3,658	(11)%	\$ 1,922	\$ 2,122	(9)%
非継続事業による税引利益 (損失)	(122)	(553)		(122)	(553)		(121)	(553)	
当社に帰属する純利益	\$ 3,133	\$ 3,105	1%	\$ 3,133	\$ 3,105	1%	\$ 1,801	\$ 1,569	15%
継続事業による1株当たり利益									
希釈化後	\$ 0.31	\$ 0.34	(9)%						
希釈化前	\$ 0.32	\$ 0.35	(9)%						
1株当たり純利益									
希釈化後	\$ 0.30	\$ 0.29	3%						
希釈化前	\$ 0.30	\$ 0.29	3%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,328	10,611	(3)%						
希釈化前	10,263	10,574	(3)%						
1株当たり配当額	\$ 0.19	\$ 0.17	12%						
当社に帰属する利益：									
継続事業による利益	\$ 3,255	\$ 3,658	(11)%						
調整 (税引後)：									
営業外の年金コスト / (収入)	430	352							
営業利益 (非 GAAP 財務指標)	\$ 3,685	\$ 4,010	(8)%						
希釈化後 1株当たり営業利益	\$ 0.36	\$ 0.38	(5)%						

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野が対象。

単位は百万ドルもしくは百万株。1 株当たりの単位はドル。未監査。補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には、GE と GECC 間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は www.ge.com/ar2012 に掲載されている 2012 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
損益計算書

6月30日までの6ヶ月間	連結			GE(a)			金融 サービス (GECC)		
	2013	2012	V%	2013	2012	V%	2013	2012	V%
売上その他の利益									
商品およびサービス売上	\$ 46,689	\$ 48,530	(4)%	\$ 46,926	\$ 48,825	(4)%	\$ 57	\$ 56	2%
その他の売上	1,719	950		1,622	1,009		-	-	
GECC の継続事業による売上	-	-		3,849	3,894		-	-	
GECC のサービス売上	21,725	21,997		-	-		22,458	22,638	
総売上その他の利益	<u>70,133</u>	<u>71,477</u>	(2)%	<u>52,397</u>	<u>53,728</u>	(2)%	<u>22,515</u>	<u>22,694</u>	(1)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費									
おおよび一般管理費	53,173	53,802		44,013	45,286		9,806	9,212	
支払い利息およびその他の財務費用	5,238	6,549		650	666		4,805	6,164	
投資契約・保険損失・									
保険および年金給付	1,350	1,399		-	-		1,417	1,473	
貸倒引当金	2,517	1,606		-	-		2,517	1,606	
売上原価および費用合計	<u>62,278</u>	<u>63,356</u>	(2)%	<u>44,663</u>	<u>45,952</u>	(3)%	<u>18,545</u>	<u>18,455</u>	-%
継続事業による利益	7,855	8,121	(3)%	7,734	7,776	(1)%	3,970	4,239	(6)%
法人税等引当額 (引当金)	(814)	(1,161)		(721)	(842)		(93)	(319)	
継続事業による利益	7,041	6,960	1%	7,013	6,934	1%	3,877	3,920	(1)%
非継続事業による税引利益 (損失)	(231)	(750)		(231)	(750)		(230)	(750)	
純利益	6,810	6,210	10%	6,782	6,184	10%	3,647	3,170	15%
非支配持分の純利益 (損失) を除く	150	71		122	45		28	26	
当社に帰属する純利益	6,660	6,139	8%	6,660	6,139	8%	3,619	3,144	15%
優先株主配当	-	-		-	-		(135)	-	
普通株主に帰属する純利益	<u>\$ 6,660</u>	<u>\$ 6,139</u>	8%	<u>\$ 6,660</u>	<u>\$ 6,139</u>	8%	<u>\$ 3,484</u>	<u>\$ 3,144</u>	11%
当社に帰属する利益：									
継続事業による利益	\$ 6,891	\$ 6,889	-%	\$ 6,891	\$ 6,889	-%	\$ 3,849	\$ 3,894	(1)%
非継続事業による税引利益 (損失)	(231)	(750)		(231)	(750)		(230)	(750)	
当社に帰属する純利益	<u>\$ 6,660</u>	<u>\$ 6,139</u>	8%	<u>\$ 6,660</u>	<u>\$ 6,139</u>	8%	<u>\$ 3,619</u>	<u>\$ 3,144</u>	15%
継続事業による1株当たり利益									
希釈化後	\$ 0.66	\$ 0.65	2%						
希釈化前	\$ 0.67	\$ 0.65	3%						
1株当たり純利益									
希釈化後	\$ 0.64	\$ 0.58	10%						
希釈化前	\$ 0.65	\$ 0.58	12%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,374	10,608	(2)%						
希釈化前	10,310	10,574	(2)%						
1株当たり配当額	\$ 0.38	\$ 0.34	12%						
当社に帰属する利益：									
継続事業による利益	\$ 6,891	\$ 6,889	-%						
調整 (税引後)：									
営業外の年金コスト / (収入)	853	688							
営業利益 (非 GAAP 財務指標)	<u>\$ 7,744</u>	<u>\$ 7,577</u>	2%						
希釈化後1株当たり営業利益	\$ 0.75	\$ 0.71	6%						

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野が対象。

単位は百万ドルもしくは百万株。1株当たりの単位はドル。未監査。補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には、GEとGECC間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は www.ge.com/ar2012 に掲載されている 2012 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約（未監査）

(単位：100 万ドル)	6月30日までの3ヶ月間			6月30日までの6ヶ月間		
	2013	2012	V%	2013	2012	V%
売上(a)						
パワー&ウォーター	\$ 5,715	\$ 6,900	(17)%	\$ 10,540	\$ 13,451	(22)%
オイル&ガス	3,955	3,642	9%	7,354	7,048	4%
エナジーマネジメント	1,981	1,877	6%	3,729	3,599	4%
アビエーション	5,303	4,855	9%	10,377	9,746	6%
ヘルスケア	4,490	4,500	- %	8,779	8,800	- %
トランスポート	1,597	1,565	2%	3,019	2,835	6%
ホーム&ビジネス・ソリューションズ	2,127	2,029	5%	4,044	3,944	3%
全産業分野事業セグメントの売上	25,168	25,368	(1)%	47,842	49,423	(3)%
GE キャピタル	10,980	11,354	(3)%	22,515	22,694	(1)%
全セグメントの売上	36,148	36,722	(2)%	70,357	72,117	(2)%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	(1,025)	(325)	U	(224)	(640)	65%
継続事業による連結売上	<u>\$ 35,123</u>	<u>\$ 36,397</u>	(4)%	<u>\$ 70,133</u>	<u>\$ 71,477</u>	(2)%
セグメント別利益(a)						
パワー&ウォーター	\$ 1,087	\$ 1,303	(17)%	\$ 1,806	\$ 2,491	(27)%
オイル&ガス	532	466	14%	857	806	6%
エナジーマネジメント	31	4	F	46	25	84%
アビエーション	1,067	922	16%	2,003	1,784	12%
ヘルスケア	726	694	5%	1,321	1,279	3%
トランスポート	313	282	11%	580	514	13%
ホーム&ビジネス・ソリューションズ	83	79	5%	162	136	19%
全産業分野事業セグメントの利益	3,839	3,750	2%	6,775	7,035	(4)%
GE キャピタル	1,922	2,122	(9)%	3,849	3,894	(1)%
全セグメントの利益	5,761	5,872	(2)%	10,624	10,929	(3)%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	(1,883)	(1,471)	(28)%	(2,362)	(2,532)	7%
GE 金利およびその他の金融手数料	(326)	(351)	7%	(650)	(666)	2%
GE 法人税引当金	(297)	(392)	24%	(721)	(842)	14%
継続事業による利益	3,255	3,658	(11)%	6,891	6,889	- %
非継続事業による税引利益（損失）	<u>(122)</u>	<u>(553)</u>	78%	<u>(231)</u>	<u>(750)</u>	69%
連結純利益	<u>\$ 3,133</u>	<u>\$ 3,105</u>	1%	<u>\$ 6,660</u>	<u>\$ 6,139</u>	8%

(a) セグメント別利益は、セグメントに関連する売上とその他の収入の両方を含む。セグメント別利益の評価対象から除外される項目は、非継続事業、連結子会社の非支配持分、公表済みの GECC 優先株式の配当および会計処理変更による影響である。セグメント別利益は、セグメント別の経営評価方法に応じて、利息やその他財務費用、法人税等を算入する場合も、除外する場合もある。セグメント別利益からこれらを除外しているのは、パワー&ウォーター、オイル&ガス、エナジーマネジメント、アビエーション、ヘルスケア、トランスポート、ホーム&ビジネス・ソリューションズであり、これは営業利益とも言えるものである。セグメント別利益にこれを含めているのは金融事業（GE キャピタル）で、これは純利益とも言えるものである。シェアードサービス、従業員福利厚生、情報技術などの特定のコーポレートコストは、利用状況に応じて各セグメントに振り分けられている。残りのコーポレートコストの一部は、各セグメントの正味経費に比例して振り分けられている。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約 (未監査)
追加情報

(単位：100万ドル)	6月30日までの3ヶ月間			6月30日までの6ヶ月間		
	2013	2012	V%	2013	2012	V%
GE キャピタル						
売上	\$ 10,980	\$ 11,354	(3)%	\$ 22,515	\$ 22,694	(1)%
セグメント利益	\$ 1,922	\$ 2,122	(9)%	\$ 3,849	\$ 3,894	(1)%
売上						
Commercial Lending and Leasing (CLL)	\$ 3,907	\$ 4,038	(3)%	\$ 7,414	\$ 8,378	(12)%
コンシューマー	3,715	3,812	(3)%	7,606	7,689	(1)%
リアル・エステート	872	876	- %	2,529	1,712	48%
エネルギー・フィナンシャル・サービス	303	446	(32)%	646	685	(6)%
GE Capital Aviation Services (GECAS)	1,282	1,317	(3)%	2,661	2,648	- %
セグメント利益						
CLL	\$ 825	\$ 628	31%	\$ 1,223	\$ 1,292	(5)%
コンシューマー	828	907	(9)%	1,351	1,736	(22)%
リアル・エステート	435	221	97%	1,125	277	F
エネルギー・フィナンシャル・サービス	60	122	(51)%	143	193	(26)%
GECAS	304	308	(1)%	652	626	4%

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
連結貸借対照表（未監査）

(単位：10 億ドル)	連結		GE(a)		金融 サービス (GECC)	
	6/30/13	12/31/12	6/30/13	12/31/12	6/30/13	12/31/12
資産						
現金および有価証券	\$ 132.5	\$ 125.9	\$ 19.3	\$ 15.6	\$ 113.2	\$ 110.4
受取手形および売掛金	20.2	19.9	10.5	9.3	-	-
棚卸資産	16.8	15.4	16.7	15.3	0.1	0.1
GECC の金融債権-純額	246.9	258.0	-	-	257.1	269.0
固定資産-純額	68.8	69.0	16.1	16.0	52.6	53.0
GECC に対する投資	-	-	79.3	77.9	-	-
営業権・無形固定資産	84.7	85.2	56.7	56.8	28.0	28.3
その他の資産	88.4	109.5	32.6	45.5	62.5	70.1
売却対象事業の資産	0.3	0.2	0.1	-	0.2	0.2
非継続事業の資産	1.9	2.3	-	-	1.8	2.3
純資産	\$ 660.5	\$ 685.4	\$ 231.3	\$ 236.4	\$ 515.5	\$ 533.4
負債および資本						
借入金および銀行預金	\$ 387.3	\$ 414.1	\$ 12.6	\$ 17.5	\$ 375.6	\$ 397.3
投資契約・保険損失・ 保険および年金給付	27.1	28.3	-	-	27.6	28.7
その他の負債	114.9	111.9	95.3	95.0	25.1	22.2
売却対象事業の負債	-	0.2	-	-	-	0.2
非継続事業の負債	2.4	2.5	0.1	0.1	2.4	2.4
株主資本	122.5	123.0	122.5	123.0	84.2	81.9
非支配持分	6.3	5.4	0.8	0.8	0.6	0.7
負債および資本合計	\$ 660.5	\$ 685.4	\$ 231.3	\$ 236.4	\$ 515.5	\$ 533.4

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野が対象。

補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には GE と GECC 間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は www.ge.com/ar2012 に掲載されている 2012 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
GAAP データを補足する財務諸表データ

GAAP 基準で作成されていない連結財務諸表の情報を使用する場合があります。この種のデータは、SEC 基準では「非 GAAP 財務指標」として扱われます。こうした非 GAAP 財務指標は、本リリースで発表した GAAP 指標を補足するものであり、代替するものではありません。ここで取り上げるのは、営業利益、1 株当たり営業利益 (EPS)、現金および現金同等物を除く GE キャピタルの最終正味投資額 (ENI)、GE インダストリアルズの営業活動で得た現金 (インダストリアル CFOA)、NBCU 取引関連の税金を除く GE CFOA、NBCU 取引関連の税金を除くインダストリアル CFOA です。これらのデータは後に最も比較に適した GAAP 基準と照合されます。

営業利益および 1 株当たり営業利益

(単位：100 万ドル。ただし、1 株当たり利益を除く)

	6 月 30 日までの 3 ヶ月間		
	2013	2012	V%
継続事業からの利益	\$ 3,255	\$ 3,658	(11)%
調整 (税引後) : 営業外の年金コスト / (収入)	430	352	
営業利益	<u>\$ 3,685</u>	<u>\$ 4,010</u>	(8)%
1 株当たり営業利益-希釈後(a)			
継続事業からの 1 株当たり利益	\$ 0.31	\$ 0.34	(9)%
調整 (税引後) : 営業外の年金コスト / (収入)	0.04	0.03	
1 株当たり営業利益	<u>\$ 0.36</u>	<u>\$ 0.38</u>	(5)%

(単位：100 万ドル。ただし、1 株当たり利益を除く)

	6 月 30 日までの 6 ヶ月間		
	2013	2012	V%
継続事業からの利益	\$ 6,891	\$ 6,889	-%
調整 (税引後) : 営業外の年金コスト / (収入)	853	688	
営業利益	<u>\$ 7,744</u>	<u>\$ 7,577</u>	2%
1 株当たり営業利益-希釈後(a)			
継続事業からの 1 株当たり利益	\$ 0.66	\$ 0.65	2%
調整 (税引後) : 営業外の年金コスト / (収入)	0.08	0.06	
1 株当たり営業利益	<u>\$ 0.75</u>	<u>\$ 0.71</u>	6%

(a) 1 株当たり営業利益は項目ごと計算されています。その為、1 株当たり営業利益の数値を足し合わせると合計数値が異なる場合があります。

営業利益は、当社の主要な年金プランにおける非サービス関連の年金コスト (利息コスト、プラン資産の期待リターンおよび数理的損益の償却から成るコスト) を除外します。主要な年金プランのサービスコストおよび、以前サービスコストに含まれていた項目は営業利益に含まれます。これらの年金コスト項目は、当社従業員への年金給付における継続的サービス関連コストをより正確に反映しているため、経営陣ならびに投資家の皆様が当社の業績を判断する際に、営業利益を指標として提供することが有用であると考えます。GAAP 基準の年金コストにおけるその他項目は主に市場のパフォーマンスに依存するため、これらの項目は当社の営業活動による業績とは別に管理しています。GAAP 基準および営業年金コストのいずれも、必ずしも当社の年金プランに関する現在または将来の資金需要の参考値となるものではありません。また、営業利益による財務指標を、対応する GAAP 財務指標と併せて参照することで、経営陣ならびに投資家の皆様が当社業績を他社業績と比較するのに有用な追加情報となると考えています。

現金および現金同等物を除く GE キャピタルの最終正味投資額 (ENI)

	6月30日 2013	
(単位: 10 億ドル)		
金融サービス (GECC) 合計資産	\$	515.5
調整: 繰延税金		5.6
GECC 純資産		521.1
非継続事業の資産を除く		(1.8)
無利子負債を除く		(58.6)
GE キャピタル ENI		460.7
現金および現金同等物を除く		(69.5)
現金および現金同等物を除く GE キャピタル ENI	\$	391.2

ENI を使用して GE キャピタルセグメントの規模を測定しています。この測定方法では、通常の業務において資本支出が不要な、既存の無利子負債を調整することができるため、事業に必要な資本（債務または資本）の有効な指標になると考えています。また、将来的に発生する負債満期に備えて債券を発行することにより多額の現金が発生しますが、追加の資本調達のためには使用しないため、現金および現金同等物を除外することで、GE キャピタルセグメントのための資本が必要な資産を効果的に測定できると考えています。この測定方法によって、すでにお伝えしている金融サービスセグメントの縮小規模目標との比較が容易になることから、投資家の皆様にとって有効であると考えます。

インダストリアル CFOA、GE およびインダストリアル CFOA から NBCU 取引関連の税金および年金拠出金を除外

	6月30日までの3ヶ月間		
	2013	2012	V%
(単位: 100 万ドル)			
GE の営業活動（継続事業）で得たキャッシュ	\$ 3,497	\$ 4,730	(26)%
GECC からの配当を除く	1,947	3,000	
GE の営業活動（継続事業）で得たキャッシュから、 GECC からの配当を除く（インダストリアル CFOA）	1,550	1,730	(10)%
調整: NBCU 取引関連の税金による影響	1,565	-	
調整: 年金拠出金による影響	-	216	
インダストリアル CFOA から NBCU 取引関連の税金および年金拠出金を除外	\$ 3,115	\$ 1,946	60%
GE の営業活動（継続事業）で得たキャッシュ	\$ 3,497		
調整: NBCU 取引関連の税金による影響	1,565		
GE CFOA から NBCU 取引関連の税金による影響を除外	\$ 5,062		

(単位：100 万ドル)

	6月30日までの6ヶ月間		
	2013	2012	V%
GEの営業活動（継続事業）で得たキャッシュ	\$ 3,697	\$ 6,789	(46)%
GECCからの配当を除く	<u>1,947</u>	<u>3,000</u>	
GEの営業活動（継続事業）で得たキャッシュから、 GECCからの配当を除く（インダストリアル CFOA）	1,750	3,789	(54)%
調整：NBCU 取引関連の税金による影響	1,565	-	
調整：年金拠出金による影響	<u>-</u>	<u>216</u>	
インダストリアル CFOA から NBCU 取引関連の税金および年金拠出金を除外	<u>\$ 3,315</u>	<u>\$ 4,005</u>	(17)%
GEの営業活動（継続事業）で得たキャッシュ	\$ 3,697		
調整：NBCU 取引関連の税金による影響	<u>1,565</u>		
GE CFOA から NBCU 取引関連の税金による影響を除外	<u>\$ 5,262</u>		

インダストリアル CFOA は GE が営業活動（継続事業）で得たキャッシュから GECC からの配当金を差し引いたものです。これには次の社内取引による影響が含まれます。GE から GECC へ販売された GE 顧客の受取債権、売上債権管理・資材調達などの GECC のサービス、ビルや機器（自動車を含む）の GECC から GE へのリース、GE から GECC への情報技術（IT）などのサービスの販売、GECC がリース用にサードパーティのメーカーから購入した航空機に搭載されている GE が製造した航空機エンジン、その他の投資、貸付金、会社運営諸経費の配分。GECC からの配当を除いた、GE の営業活動によるキャッシュフローの比較は投資家の皆様にとって有用な分析になると考えています。GECC からの配当金を除くのは、産業事業分野で得るキャッシュフローを反映しないこと、ならびに期毎に金融サービス事業の業績が大きく変動するためです。また、NBCU 取引関連の支払い済み税金と 2012 年の年金拠出金による影響を除いた、GE の営業キャッシュフローとインダストリアル CFOA の比較は、投資家の皆様にとって有用な分析になると考えています。このキャッシュフローのデータは、産業事業と金融事業の双方を営む企業との比較には適さない可能性もありますが、GECC から得ている配当の額についての追加情報を得ることで、比較が可能になります。インダストリアル CFOA と特定の項目を除外したインダストリアル CFOA のデータは、産業事業分野のキャッシュ創出能力を経営陣ならびに投資家の皆様が正確に判定し、他の非金融業の事業や企業と比較するのに有用と考えるため、GAAP 基準による CFOA 値を補足するデータを示しています。